

令和4年9月16日(金)

令和4年度
学校だより

第6号

Let's try

TEL 098-994-6321

今日も楽しもう！！

糸満市立
兼城小学校

発行者
校長 山田 浩也

【学校教育目標】

将来の夢に向かって、心をみがき、頭と体をきたえる「思いやりのある かしこく たくましい子」

「自分を大切にすることってどういうこと？」(依存症予防教育)

9月8日(木)3校時、本校体育館にて6年生児童を対象に6学年の担任主催の依存症予防教育について専門カウンセラーの講師を招聘し「自分を大切にすることってどういうこと？」をテーマに特別授業を行いました。その内容は講師自身の体験を交えながら問題とされているアルコール・タバコ・薬物・ギャンブル・スマホ・ゲームによって生じる依存症とその予防、そして依存症の背景となる感情のコントロールなどの講話でした。依存症については「本人の意思や決意ではどうにもならない脳が壊されていく病気、特にゲーム依存は治すのが難しい、スマホやゲームに時間を使うほど脳が酷使されて疲労し、頑張っても勉強をしても学力がつきにくいほか、人と話す時間が減り、言葉にして話すなどの伝える力(コミュニケーション力)が落ちる。」など、その他の依存症も脳や身体、日常生活生活へのダメージに繋がることを話されていました。感情については、喜び・不安・怒り・悲しみ・苦しみについて触れており、「喜びは素直に感動を味わう。悲しみは我慢せず泣くことで力が戻る。不安・怒り・苦しみは誰かに打ち明けたり、相手を責めずに伝えたり、勇気を出して助けを求めろ。」等の解決法を紹介していました。また、自分を好きになるトレーニングについて上記の感情のコントロールのほか「思いっきり遊ぶ、リラックスする、失敗しても大丈夫、また挑戦する。」等、子供も大人も参考になる、ひいては自分を大切にすることに繋がる授業でした。



「読み聞かせが始まりました。」

9月16日(金)兼城小の全学年の学級を対象に「月桃の会」による読み聞かせが始まりました。この取り組みはコロナ禍により、これまで中断されており、実に3年ぶりに復活ということでした。読み聞かせボランティアも二十数名の方が来校し、大型絵本なども活用しながら読み聞かせを行ってくれました。読み聞かせは、子どもたちにとって一日の学校生活の中で人気のある取り組みであり、食い入るようにボランティアのお話に目と耳を傾けていました。

「毎朝10分遅刻するなら10早く寝る」(校長講話より)



毎週水曜日の全校朝会では月に一度、新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン形式ですが校長講話を実施しています。これまで「空想と創造について」や「創立記念日について」(兼城小の歴史と伝統をふりかえる)等々を行っています。今回は「工夫することについて」お話をさせていただきました。挑戦し努力してもうまくいかない場合、何度やってもダメな場合、やり方を変えてみる「工夫」が大切ではないかと提案しました。例えば、毎朝10分遅刻するなら、10分早く寝る等、「なあんだ。」思えるような工夫も必要とあった具合です。9月は学力向上推進月間です。学校の授業でお子様自身が課題と捉えたところは、宿題として家庭学習と連動させています。「課題の解決に向けて自分なりに工夫する。」主体的に取り組む児童の育成に向けて連携して取り組んで参りましょう。

